

SJN（小規模自治体ネットワーク）

人材育成PJ活動報告書

派遣先：鳥取県東伯郡北栄町
派遣期間：令和7年6月30日～7月4日

町	民	課	関口	和則
環	境	課	浅見	昌彦
福	祉	介	澤	匠
健	康	子	田	勇輝
育	て	課		



【目的・活動内容】

【目的】

『鳥取県北栄町と埼玉県横瀬町による官民の人材交流に関する協定書』に掲げる「連携・協力事項」に基づき、本町職員を鳥取県北栄町に派遣し、互いの先進事例をはじめ、各種施策の取組を共有することにより、地域課題の解決を図るとともに、職員間の交流を推進する。



【活動内容】

1. グループ活動

北栄町の公共施設等の把握、行政課題の調査(情報交換含む)

2. 個別活動

北栄町の先進事例、各種施策の取組調査(情報交換含む)

3. 特別活動

横瀬町職員テレワーク実施要領(令和3年訓令第1号)に基づく「モバイルワーク」の実証など

北栄町の概要、特徴及び課題

北栄町は、鳥取県の中央部に位置する町で、平成17年(2005年)10月1日に旧北条町と旧大栄町が合併して誕生した。豊かな自然とユニークな文化、そして環境への先進的な取り組みが特徴である。

【概要と特徴】

1. 自然豊か

北は日本海に面し、白砂青松の砂丘地帯が広がり、南には丘陵地帯がある。海岸沿いには町のシンボルである風車が立ち並び、風力発電にも取り組んでいる。

2. 農業が盛ん

「大栄西瓜(だいえいすいか)」は全国的にも有名で、GI(地理的表示)にも登録されている。その他にも長芋、らっきょう、ぶどう、ワイン(北条ワイン)などが特産品として知られている。

3. 「名探偵コナン」の里

漫画『名探偵コナン』の作者である青山剛昌先生の出身地であり、「コナンの里」として町おこしをしている。JR由良駅から「青山剛昌ふるさと館」までの約1.4kmの道のりは「コナン通り」と呼ばれ、コナンのブロンズ像やオブジェ、レリーフなどが点在し、ファンにはたまらないスポットとなっている。

4. 歴史と文化

江戸時代に鳥取藩が築造した砲台跡である「由良台場」は国の史跡に指定されている。

5. 移住・定住支援

農業が盛んなため、新規就農者へのサポートが充実しているほか、子育て支援なども手厚く、移住者を受け入れている町として知られている。

【課題】

1. 人口減少・少子高齢化: 他の地方自治体と同様に、人口減少と少子高齢化は大きな課題

2. 農業担い手の育成・確保: 農業が主産業であり、次世代の担い手の育成・確保が重要

3. 施設の老朽化: 町営住宅や下水道施設など、公共インフラの老朽化対策が喫緊の課題

1日目 町内見学

1 蜘蛛ヶ家山 山菜の里 (くもがいやま)



山頂に位置し、360度のパノラマ絶景
(日本海や大山など)が楽しめる自然公園です。

2 道の駅 ほうじょう

今年の4月にリニューアルオープン！
「食のテーマパーク」がコンセプトの道の駅です。
長芋、らっきょう、すいかといった北栄町の特産品は
もちろん、鳥取県全域、日本全国の美味しい「食」が
集まります。



雨の日も遊べる
大きなキッズスペース！



1日目 町内見学

3 風力発電所

「北条砂丘風力発電所」として、日本海に面した海岸線に立ち並ぶ風車群が特徴です。



4 青山剛昌ふるさと館

「名探偵コナン」の原作者である青山剛昌氏の作品世界を紹介するマンガ・アニメミュージアムです。

館内では、青山剛昌氏の生い立ちや作品の制作過程に関する貴重な資料、複製原画が展示されています。

また、『名探偵コナン』に登場する発明品やトリックを体験できるコーナーもあり、作品の世界を体感しながら楽しむことができます。

5 「コナンの家」 米花商店街

「名探偵コナン」の世界観を再現した複合商業施設です。青山剛昌ふるさと館に通じる「コナン通り」沿いに位置し、作中に登場する「喫茶ポアロ」をモチーフにしたカフェ、ジェラート店、ファーストフード店、そしてコナン関連グッズを扱う「コナン百貨店」など、複数の店舗が軒を連ねています。

視察報告 関口① 受入先：町民課

2日目／午前 窓口業務説明／情報交換・地域ネットワーク会議

北栄町の窓口業務委託や電子決裁等の先進的な取り組みについて資料提供・説明

講演：「重層的支援体制整備事業の概要と他機関協働における困難事例の解きほぐし方」

講師：北栄町福祉施策アドバイザー 土屋幸己 氏

地域ネットワーク会議の講演会を吉澤主事、米田主事と共に聴講
参加者50名以上



視察報告 関口② 受入先：町民課

2日目／午後 北条砂丘風力発電所視察・テレワーク

北条砂丘風力発電所を浅見主査と視察

ちょうどメンテナンスの時期で、写真は小さくて分かりづらいですが、羽の部分に人が写っています。また特別に風車内部も見学させていただきました。

その後、北栄役場の会議室でテレワークを実施。

「社会を明るくする運動」出発式立ち会い。



視察報告 関口③ 受入先：町民課

3日目／午前 テレワーク
午後 意見交換（健康事業等）
北条支所（民間委託）見学

吉澤主事、米田主事と共に北栄町の健康推進課・福祉課合同での意見交換（横瀬町の福祉介護課の職員3名もオンラインで参加）

北栄町の要介護認定率は、鳥取県内で最も低い。

北条支所の窓口業務は民間委託で運営。町の職員は支所長1名のみ。

現在は10年の実績があり、マニュアル等も整備されているが、委託当初はトラブルも発生したとのこと。



視察報告 関口④ 受入先：町民課

3日目／午前 農業視察（西瓜選果場・ぶどうハウス）

午後 テレワーク
質疑応答（国保関係）

浅見主査・米田主事と「西瓜選果場」と「ぶどうハウス」を視察。

スイカは「大栄西瓜」としてブランドが確立されており、重量、内部品質、内部空洞等の検査が全て自動化され、厳しく品質管理され、その全ての基準を満たしたものが「大栄西瓜」として出荷されており、そのブランドに非常に誇りを持っているように感じた。

午後は、国民健康保険事業について取組について質疑応答。



視察報告 関口⑤ 受入先：町民課

5日目 テレワーク・情報交換／まとめ

最終日は、視察メンバー全員で4日間の振り返り、各自が視察した場所や、参加した会議や研修会で感じた横瀬町と北栄町の違いや、進んでいる箇所等について情報の共有。

また最後に、手嶋町長からこれから北栄町が取り組む予定の事業について説明を受けた。

テレワークに関して通信等機器については問題なく作業ができた。

ただし財務会計が繋がらないため、伝票の決裁や、予算・決算などの確認ができなかった。

北栄町は管理職は出先でも電子決裁が可能なので横瀬町もそのシステムが導入できれば更にテレワークがしやすくなると感じた。



視察報告【浅見①】

派遣先：環境エネルギー課 生活環境室

➤環境エネルギー課の紹介【職員数／主な業務内容】

環境エネルギー課長 1名

○生活環境室4名（うち会計年度任用職員1名）

【主な業務】

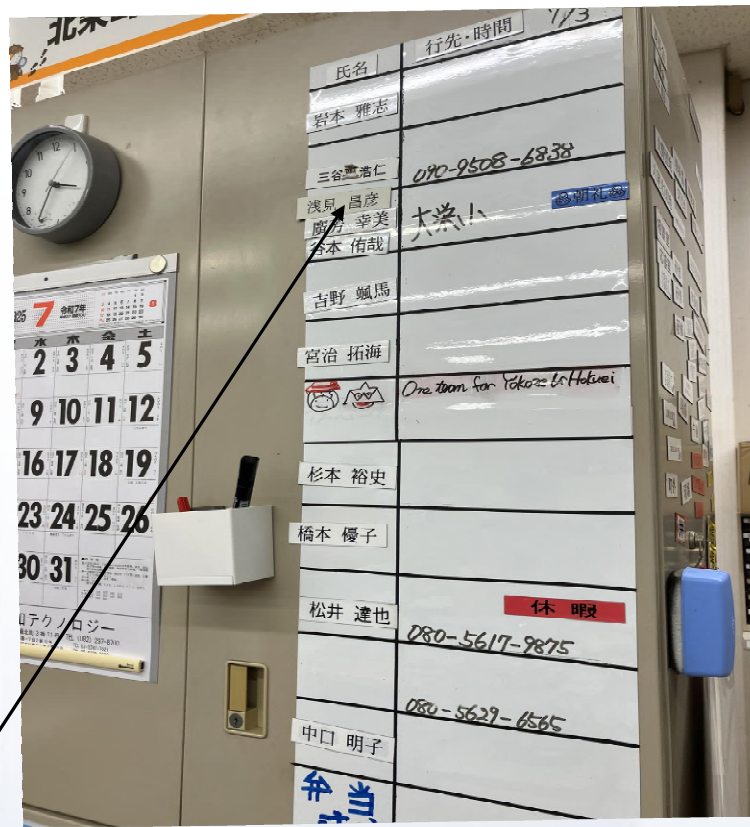
環境審議会、環境基本計画、廃棄物の処理、
町営住宅・県営住宅の管理及び運営、動物愛護、
犬の登録及び狂犬病予防業務等

○地域エネルギー推進室5名（うち会計年度任用職員1名）

【主な業務】

地球温暖化対策、エネルギー政策、
地域エネルギーを活用したまちづくり、風力発電、
省エネ住宅及び家電に関する補助金事業等

この日は大栄小学校の環境勉強会に出席しました。



視察報告【浅見②】

➤2日目・午前 株式会社エナテクス・鳥取みらい電力視察 【概要(施設等の紹介等)】

○株式会社エナテクス

電気・通信技術を通じて、人々の豊かな生活と環境にやさしい社会づくりに貢献することを企業理念としている事業者であり、主に電気設備工事や情報伝達システムなどの導入に伴う事業を行っている。北栄町とは特に脱炭素やエネルギー分野で協力しており、太陽光発電所の建設や営農型ソーラーシェアリングといったSDGsへの先進的な取り組みを行っているほか、ZEB(ネット・ゼット・エネルギー・ビル)モデルオフィスの施工なども手掛けている。



○鳥取みらい電力

鳥取県中部地域の豊かな自然から生まれた再生可能エネルギーを活用し、地域の活性化と脱炭素化を目指すため設立された地域新電力会社である。主に北条風力発電施設で発電された再生可能エネルギーを買い取り、地域内で消費する「エネルギーの地産地消」を推進している。

鳥取みらい電力と(株)エナテクスとは密接な関係にあり、エナテクスが手掛ける太陽光発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギー事業が、鳥取みらい電力への電力供給源となることで連携が図られている。



視察報告【浅見③】

➤2日目・午前 株式会社エナテクスファーム(北栄ソーラーファーム)視察

【概要(施設等の紹介等)】

営農型ソーラーシェアリングを手掛ける(株)エナテクスのグループ会社であり、北栄ソーラーファーム(太陽光発電施設)の運営管理を行っている。北栄町では、太陽光パネルの下で、「常緑キリンソウ」や「どくだみ」を栽培し、発電事業と農業を両立させている。この取り組みにより、農地の有効活用や安定収入の確保につながり、地域の雇用創出や活性化にも大きく貢献している。



太陽光パネルの下で「どくだみ」を栽培している様子

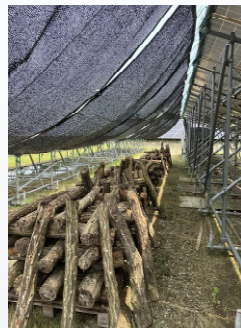
日当たりを好む一方、湿り気を含む半日蔭でもよく育つため、現在はどうだみの栽培をメインに行っている。栽培されたどくだみは、どくだみ茶などの加工品として利用されている。

その他にも、パネルの下で原木しいたけを栽培したりなど、様々なアイデアを提案して実現させているところが印象的であり、企業努力されていると実感。



常緑キリンソウ

暑さ・寒さ・乾燥・加湿に強い
ため散水不要でビルの屋上の緑化などに適している。



どくだみの周りに生えた雑草を処理するため、人材を雇用して対応するなど、雇用創出にも貢献している。

視察報告【浅見④】

➤2日目・午後 北条砂丘風力発電所視察

【概要(施設等の紹介等)】

自治体直営として2005年11月に竣工された**国内最大規模**の風力発電所。北栄町が環境意識を高め、温室効果ガス排出削減の取り組みを強化する大きなきっかけとなった事業である。設備の導入にあたっては、固定価格買取制度(FIT)を活用しており、国が定める期間中(20年間)は安定的な売電収入が見込めている。令和5年度北栄町風力発電事業会計決算では当期純利益125,331,567円を計上し、一般会計からの繰入金(営業外収入)に依存しておらず、独立採算の原則に沿った健全な経営となっている。さらに毎年度の利益処分においては、風力発電施設の処分費に備えるための基金へ積立しているほか、一般会計へ50,000千円繰り出しをして、省エネ関連事業の財源)として活用されている。

○建設費用 約28億円(財源:NEDO補助金約7億円、公営企業債20.5億円)

○風車機能 1,500kW×9基(定格出力13,500kW、定格風速12.5m/s)

○風車構造 タワー、ブレード3枚、ナセル(発電機)、ハブ(ローター)

○発電実績 年間約21,000MWh

(一般家庭のおよそ6,000戸の年間消費電力量に相当する)

○営業収益 中国電力(株)への売電収入 約4億円

○営業費用 主に修繕費や専門業者による保守点検業務委託料 約2.3億円

(視察したときはブレード点検による高所作業が行われていた。)



風力発電は、初期投資は高額であったものの、安定した売電収入と適切な維持管理により、町の財政に貢献しつつ、環境に配慮したまちづくりを推進する重要な柱となっている。ただし、設備の耐用年数の経過に伴う大規模修繕などの経費が見込まれるほか、固定価格買取制度(FIT)の買取期限(令和8年3月)満了後において、国が定める価格から一般的な売電単価となることから、風力発電施設の進退について検討を進めているとのこと。また、この町のシンボルである風力発電施設のあり方や今後北栄町の未来の姿を考え、具体的な脱炭素化の行動へとつなげていくための事業として、住民や関係者が参加できる「ほくえい未来トーク」を実施して、環境への意識啓発、意見収集、省エネ・再エネの行動促進を図っている。

視察報告【浅見⑤】

➤3日目・午前 軟質プラスチックの回収事業 【概要】

資源の再利用とごみの減量化を目的として、2024年7月から軟質プラスチックを独自に町が回収する取り組みを行っている。回収した軟質プラスチックは固形燃料集積所で固形燃料(RPF)を生成されている。この固形燃料は工場の熱源や発電等に使用されており、石炭と同等の発熱量でCO2は2/3の排出量となり、焼却後の残渣も道路の材料として再利用されている。

事業開始時は、毎月250kg程度であったが、広報活動等に注力し、現在では毎月約1トンもの軟質プラスチックが回収されるようになった。

町が設置した回収ボックス



溜まった軟質プラスチック
(毎月1トン近くの量になるとのこと)



溜まった軟質プラスチックは中央保育所(遊休施設)を保管場所として活用し、適量に達し次第、集積所へ運搬している。軟質プラスチックの回収場所は、本庁舎を含め4カ所であり、回収場所の拡大を検討しているとのこと。北栄町独自で実施しているが、実施スキームや運搬業者との調整も要するため、導入についてはいろいろと検討が必要と感じる。

視察報告【浅見⑥】

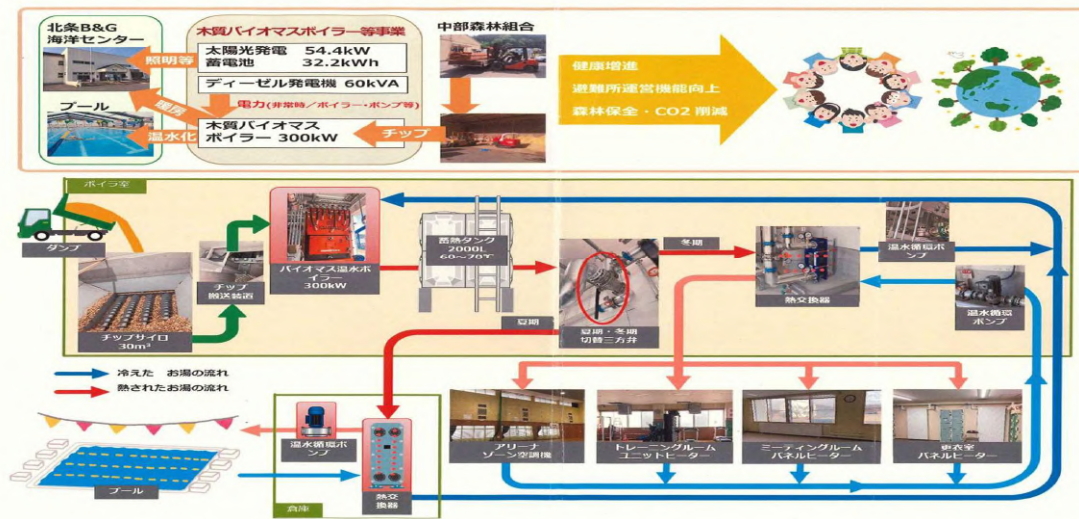
➤3日目・午後 B&G海洋センター、木質バイオマス燃料製造施設視察

【概要(施設等の紹介等)】

B&G海洋センターは、公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団が運営する小さい子供から大人まで利用できるスポーツ施設(プールや体育館)である。北栄町として、木質バイオマスエネルギーの活用を推進するため、中部森林組合と連携して木質バイオマス燃料製造プロジェクトを計画し、2021年3月に「木質バイオマスボイラー」を導入して、廃材となった木材をチップにしたものを燃焼して発生した熱を活用して、プールの加温や体育館の暖房などに利用する取り組みを行っている。

木質バイオマス燃料製造の流れ

B&G海洋センター



視察報告【浅見⑦】

➤3日目・午後 クリーンランドほうき(一般廃棄物最終処分場)視察

【概要(施設等の紹介等)】

鳥取中部ふるさと広域連合(倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町、琴浦町で構成)が設置・運営する一般廃棄物最終処分場。焼却残渣の埋め立てにより生じる浸出水の処理施設も併設されている。現在は第1期工事で完成した埋立地を使用しているが、もうじき埋立容量に達するため、第2期工事により埋立地の増設を行っているとのこと。約18年から20年で埋立地が満杯になると予測されているため、最終処分場の延命化に向けた焼却灰のリサイクルや、前述の軟質プラスチックの回収事業などを通じて最終処分場の延命化につながる取り組みを実施していることがうかがえた。

	第1期工事	第2期工事	合 計
埋立面積	17,900m ²	10,000m ²	27,900m ²
埋立容量	56,000m ³	36,000m ³	92,000m ³
浸出水処理能力	40m ³ /日	160m ³ /日	200m ³ /日
総事業費	約28億円	約23億円	約51億円



視察報告【浅見⑧】

➤4日目・午前 農業視察(西瓜選果場、ぶどうハウス)

【概要(施設等の紹介等)】

○西瓜選果場

鳥取県北栄町を主産地とする、西日本有数のすいかであり、100年以上の歴史を持ち、その品質の高さから全国的に知られている。大玉で高糖度(一般的なスイカの糖度が約10度なのに対し、大栄西瓜は糖度11度～14度と非常に高い)でしっかりと甘みの特徴。大きいものでは10kgを超えるものもある。選果場を視察した日では、1日約35,000玉を出荷されるとのことで、住民の方々が生産した大量のすいかが配送ラインを流れており、1玉ずつ形、大きさ、糖度などが専用機器で確認されていた。

○ぶどうハウス

北栄町では、ぶどう栽培も盛んに行われており、その中でもデラウェアは、特に早くから収穫が始まる品種として知られている。視察した日では、ちょうど収穫時期であり、しっかりと甘味とみずみずしい食感が特徴的であった。北栄町は豪雪地域であり、冬場の大雪によりビニールハウスが損傷するなど対応に苦慮することもあるとのこと。



視察報告【浅見⑨】

➤4日目・午後 環境に関する勉強会出席(大栄小学校4年生)

【概要】

大栄小学校4年生のクラスで環境に関する授業を環境エネルギー課職員が講義することで参加させていただいた。北栄町の環境に対する取り組み(この日は風力発電施設のこととごみ処理に関すること)を児童に学んでもらうよう職員が資料等を用いて、わかりやすく説明し、質疑応答では児童と環境エネルギー課職員との活発なやりとりが行われた。

北栄町が掲げる「環境にやさしいまち」の実現に向けた取り組みについて、学校とも協力して児童生徒と共有できるよう積極的に取り組まれていることがうかがえた。



北栄町役場 福祉課の紹介

- **職員数:** 26名（課長、室長、一般職員、会計年度職員含む）
- **課内グループ:** 生活支援室、介護保険室、福祉支援室、地域包括支援センター
- **役割:** 地域住民の生活を支え、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指しています。



2日目 地域ネットワーク会議

会議への参加

- **場所:** 庁舎内改善センター大会議室

活動概要

- **講演(午前):** 重層的支援体制整備事業の概要と困難事例の解きほぐし方
- **演習(午後):** 家族の困難事例検討



2日目 講演内容

➤ **テーマ:**「重層的支援体制整備事業と多機関協働」

➤ **講師:** 北栄町福祉施策アドバイザー 土屋幸己氏

要点

- 制度概要だけでなく、多機関が連携し、役割分担・情報共有する重要性を解説。
- 複雑な課題を持つケースへの具体的な協働アプローチを提示。

所感

- 包括的支援体制の全体像を深く理解できた。
- 困難事例の解決には、多機関が協働し、定期的に協議する場を設けることが極めて重要であると再認識した。
- この視点は、今後の地域連携を強化する上で不可欠だと感じる。

2日目 演習内容

- **困難事例のグループ検討**
- **内容:** 相談支援専門員が提供する家族の困難事例をグループごとに検討。
- **プロセス:** 問題の洗い出し(主語付け) → 強み(ストレングス)の発見 → 問題の仕分け・束ね → 課題検討 → 具体的な担当割り振り

所感

- 困難事例への対応プロセスを実践的に学べた。
- 段階的なアプローチと解決へのフレームワークの有効性を実感。
- グループ討議を通じて、多様な視点から事例を分析する重要性を学び、実践的な課題解決能力を養うことができた。

3日目 よっしゃやらあ会研修会への参加

住民参加の地域会議（第2層）

- **場所:** 北栄町社会福祉協議会
- 活動概要**
- **前半:** 生活支援体制整備事業の講義
- **後半:** 「地域における支えあいとは」をテーマにグループ討議
- **所感:** 第2層協議体として、住民の方を交えた話し合いと、民意を直接聞くことの重要性を再認識できた。



4日目 包括的支援体制の聞き取り (1/2)

取組み概要と背景

- **事業開始:** 令和3年度より(重層的支援体制整備事業)

構築背景

- 複合的課題を抱える世帯が散見されたため。
- 住民から「地域での助け合い」や「総合相談支援」を求める声が多数あがったため。

基本的な考え方

- 個別支援と地域支援(地域づくり)の両面からアプローチ。
- 住民一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかな支援と、地域全体の課題解決を目指す。

4日目 包括的支援体制の聞き取り (2/2)

事業例：食のプラットフォーム事業

- **目的:** 「集いの場づくり」と「食を通じた交流の促進」
- **対象:** 主にひきこもり状態にある方々
- **内容:** 参加者が協力して昼食を調理し、共に食卓を囲む。
- **所感:** 食を通じた自然な交流が、参加者の心理的ハードルを下げ、地域への繋がりを深める効果的な手段であると確認できた。

4日目 シニアファイト教室の見学

一般介護予防事業

- **場所:** セラトピア
- **概要:** 施設に委託した運動プログラム
- **内容:** 理学療法士による簡単な運動（転倒予防、体力維持・向上）
- **特徴:** 月4回開催、低額な自己負担、送迎サービスあり。
高齢者の健康増進と社会参加を促進。

4日目 高齢者サロン出前講座

出前講座の見学

- **場所:** みどり西公民館
- **参加者:** 30名ほど
- **内容:** タクシー利用料助成制度や補聴器購入費補助などを説明。最後に七夕の願い事を参加者と共に作成。



まとめ

視察で得た大きな気づき

- 今回の視察は、地域福祉の先進的な取り組みを肌で感じる貴重な機会でした。特に、住民一人ひとりに寄り添い、地域全体で支え合うという強い意志と、その具体的な仕組みづくりに感銘を受けました。

今後の展望

- 北栄町の先進的な取り組みを参考に、より効果的な地域支援のあり方を追求してまいります。

視察報告【米田①】

受入先：健康推進課 健康づくり推進室

健康推進課の紹介

健康推進課長 1名

健康づくり推進室 11名

町民の健康管理、母子保健、予防接種、感染症
予防及び防疫、献血、健康づくり、生活習慣病
予防、食品衛生、大栄健康増進センター、
特定保健指導

国保医療室 5名

国民健康保険、特別医療、特定健診等、後期高
齢者医療

視察報告【米田②】

受入先：健康推進課 健康づくり推進室

▶2日目・午前

第2回地域ネットワーク会議を見学（福祉課事業）

【概要】

北栄町福祉施策アドバイザーである土屋 幸巳氏の重層的支援体制整備事業や他機関協働における困難事例への対応についての講演を受講しました。

研修に参加させていただいて

福祉課をはじめとした多くの課の職員や介護事業所等の職員、社会福祉協議会の職員といった福祉に携わる多くの関係者が本会議に参加しており北栄町の福祉分野への取組への姿勢が感じられる会議であった。



会場の様子

視察報告【米田③】

受入先：健康推進課 健康づくり推進室

▶2日目・午後

健康増進に関する事業等の情報交換

【概要】

お互いの町が取り組んでいる健康づくりに関する事業について情報交換

・似た事業もありつつも参考になる点がたくさん！

例)ほくえい健康ポイントラリー⇄横瀬町わくわくポイント事業

北栄町では家庭での自主的な取組でもポイントを付与（※1 頑張りカード）

例)特定保健指導（北栄町も横瀬町も実施）

どちらの町も実施しているが、北栄町では集団健診会場にて昨年の結果から今年度も特定保健指導の対象となりそうな人に声をかけ、生活習慣の改善を促している！

例)がん検診

横瀬町のR6受診率は平均10%であるのに対し、北栄町のR6受診率は30～40%!!

がん検診の申込みを電話で受け付けていたが、電話回線がパンクするほどの申込みがあり、昨年度から検診のWEB予約を開始。

昨年度は13～14%の利用率、今年度は7月時点で13～14%の利用率とのこと



※1 頑張りカード

視察報告【米田④】

受入先：健康推進課 健康づくり推進室

▶3日目・午前

よっしゃやらあ会研修会へ参加（福祉課事業）

【概要】

- ・ よっしゃやらあ会とは？

高齢になっても安心して住み続けられる町を目指して地域の助け合い活動をすすめる、生活支援や見守り体制づくりや既存活動の活性化に取り組む町民で構成される会

- ・ 研修内容

生活支援体制整備事業の概要について

- ・ 研修後グループワーク内容

自己紹介、講義の感想、地域がこうなったらいいな・これから取り組んでみたいことなど

研修に参加させていただいて

地域づくりに関心のある方で構成される協議体であるため、研修後のグループワークにおいても盛んに議論を重ねており、自分たちの地域の事を主体的に考えて行動している、ということを肌で感じる事が出来ました。



会場：北栄町社会福祉センター



会場内の様子（準備の様子）

視察報告【米田⑤-1】

受入先：健康推進課 健康づくり推進室

▶3日目・午後

健康寿命延伸の為の取組についての情報交換

【概要】

- ・それぞれの町健康増進計画について



北栄町 第3次健康ほくえい計画～めざせ！私もあなたも 健康人生～ 計画期間 令和4年～令和10年
(健康増進計画, 食育推進計画, 自殺対策計画を包含)

横瀬町 第4次健康よこぜ21プラン 計画期間 令和7年～令和16年
(健康増進計画, 食育推進計画, 自殺対策計画, 歯科口腔保健推進計画を包含)

★どちらの計画も健康についての重要事項を定めている点は同じであるが、北栄町では事業を実施する際に、参加者に向け計画における目標値を伝え、一緒に目標達成を目指すよう声かけを行っている

メモ

北栄町の計画策定時に実施したアンケートの回収率は66%で人数にすると8,000人近くの方が回答！

※横瀬町のアンケート回収率は44%（調査対象1,178人、回収470件）

視察報告【米田⑤-2】

受入先：健康推進課 健康づくり推進室

▶3日目・午後

健康寿命延伸の為の取組についての情報交換

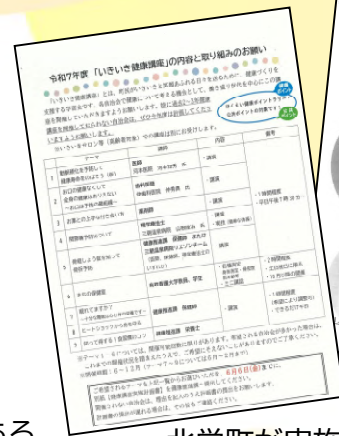
【概要】

・介護予防について

北栄町 以前は介護認定率が県内において下から数えた方が早いぐらいであったが現在は改善してきている。

- ・30/63の自治会で体操教室を実施しており、町民も介護予防に関心がある
- ・デイサービスやヘルパー利用のみの介護被保険者に向けリハ職を派遣し日常生活に復帰できるよう支援する事業を町が実施するなど、介護認定率の改善に取り組んでいる

★北栄町福祉課の職員曰く、「町民が要介護認定率の低さに誇りを持っているのではないか」とのこと



北栄町が実施している
運動教室等のチラシ

視察報告【米田⑤-3】

受入先：健康推進課 健康づくり推進室

▶3日目・午後

健康寿命延伸の為の取組についての情報交換

【概要】

- ・その他北栄町の参考となる取組

○検(健)診と特定保健指導

県内15位(19自治体中)の保健指導実施率であったため、令和7年度より、健診実施当日に昨年度の健診結果から対象となりそうな方へ声をかけ、その後の保健指導につなげている

★令和7年度から開始したばかりだが、すでに1人最終評価まで到達した方もいるとのこと！(7/2時点)

※特定保健指導とは？…指導と聞くと嫌なイメージを持たれる方もいるかもしれませんが、健診結果から生活習慣病のリスクがある方に対し、保健師や管理栄養士等の専門家による生活習慣改善のサポートが受けられるものです。

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

北栄町の健康課題の一つとして歯科健診受診率の低さがある。

→各地域のサロン等で歯科健診の受診勧奨をし、その場で申込みを受付問診票等を送付することで課題解決を図っている



情報交換会の様子

視察報告【米田⑥】

受入先：健康推進課 健康づくり推進室

▶4日目・午後

北栄町内の健康増進施設見学

【概要】

- ・健康推進課が健(検)診等を実施している町内の施設を見学しました。



北栄町健康増進センター

←大栄地区の健(検)診の会場で
子育て支援センターも併設。

内部は乳幼児から成人までの
健(検)診に対応できるように作
られている施設

(公財)B&G財団が運営する施設→
運動教室等の実施場所でもあり
プールやジム, 体育館がある施設

平日昼間であったがジムの利用者
は10人程度おり賑わっていた



B&G海洋センター



北栄町健康増進センター内の
フードモデル

北条地区の健(検)診の会場で→
健康増進センターほど健診向け
の作りではないが、だからこそ
利用の幅が広い施設
見学時は, 文化サークルの作品展
示がされていた。



北条農村環境改善センター



B&G海洋センター内のジム

視察報告【米田⑦】

受入先：健康推進課 健康づくり推進室

▶まとめ

一週間の視察を通して感じたことは、北栄町の方は横瀬町民と比べて自分事として健康づくりに取り組んでいる方が多いな、ということでした。

(横瀬町民にはそういう方が居ないということではありませんが...)

その気づきや北栄町での取組を元に、地域性、町民性の違いはあれど、横瀬町民が“自分事”として健康づくりに取り組むことが出来るよう、啓発活動や、健康づくりに取り組む方をサポート、応援するような事業を実施することで、横瀬町民がより健康で過ごせるように取り組んで行こうと思いました。

視察報告(御礼) 受入先：北栄町役場の皆さま

北栄町の皆さま、通常業務でお忙しいところ受け入れていただきありがとうございました。

北栄町の先進的な取組や、意見交換を通じて学んだことは大変参考になりました。

また、各受入先の課の方々だけでなく、様々な調整をしていただいた企画財政課の皆さまをはじめ、資料等のご準備など大変お世話になりました。

改めまして、今回の視察でお世話になった皆さま本当にありがとうございました。



「道の駅ほうじょう」に設置されている横瀬町産の木材を使用したベンチです。

